

第1回業務推進委員会の概要

- 日 時：令和8年8月5日（水） 10:30～12:00
- 場 所：京都獣医畜産会館
- 出席者：委員名簿のとおり 8名（市町村4名、京都府1名、サポートセンター3名）
- あいさつ及び委員会の趣旨説明（川戸理事長）
 - ・令和2年8月のサポセン設立から6年が経過。令和7年度は京都府及び17市町村等と契約を締結し森林経営管理制度を着実に推進
 - ・令和7年度の受託額は1億4千万円を超え設立時に比べ契約市町村数や受託額が5倍以上に増加
 - ・今回、市町村の課題や要望等を整理し業務や予算等の参考にするために本委員会を設置
- 議 題
 - 1) 府内市町村の森林経営管理制度の取組状況
 - ・京都府では、令和7年末時点で20市町村が経営管理制度の取組を実施
 - ・令和7年度末（見込）で集積計画の作成・公告を行ったのは18市町村（約863ha）
 - 2) サポートセンターの取組実績
 - ・令和2年度の設立以降、森林境界明確化や意向調査、集積計画の作成等の業務を受託した地域は合計82地域（2,770ha）で森林環境譲与税及び補助事業を活用した森林整備面積は約251ha
 - 3) 森林経営管理制度等を推進するための課題や要望（主な意見）
 - 森林経営管理制度の推進
 - ・整備の遅れている森林や管理しやすい森林から、優先順位を決めて進めている
 - ・市町村の独自制度を創設し、林業事業者による森林整備の取組を支援している
 - ・森林環境譲与税額が少ないため全て森林経営管理制度に使っている
 - ・個人で管理できない森林を無償で町が受け入れることを検討
 - 森林経営管理制度の課題
 - ・意向調査や同意取得に時間がかかり森林整備に至っていない。森林整備が進まなければこの制度の意味がない
 - ・森林環境譲与税がないと森林整備は進めていけない
 - ・市町村業務や森林整備を担う人材が不足している（担い手対策は喫緊の課題）
 - ・林業担当の職員は他の業務との兼任で、林業の専門用語もわからないので研修が必要
 - 森林経営管理制度に係る要望
 - ・市町村は林業の専門知識がなくサポセンの支えがないと森林経営管理制度が進まない。サポセンの体制の充実を希望
 - ・森林経営管理制度の担当者は1人で他の業務も兼務しているため、業務の管理・監督もサポセンにお願いしたい